

宮城県秋の交通安全県民総ぐるみ運動に参加！

～損保各社が交通安全を呼びかけ～

日本損害保険協会東北支部(委員長：原 直人・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 常務執行役員・東北地域担当)は、9月21日(木)に開催された宮城県「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」に参加し交通安全・事故防止を呼びかけました。

県民総ぐるみ運動は9月21日(木)から30日(土)までの10日間行われるもので、子どもと高齢者の交通事故防止を基本に、飲酒運転の根絶、自転車のヘルメット着用の促進など取り組むことにしています。出発式には宮城県警察本部長や県副知事ら交通安全関係の諸団体から約200名の参加があるとともに、宮城県交通安全アドバイザーである民謡歌手の庄司恵子さんと娘で踊り手のKASUMIさんが、親子で息のあった交通安全の呼びかけを行いました。

コロナ以降、主催者による参加者の人数制限がありましたが、今回久しぶりに損保各社からも約10名の参加があり、県民への呼びかけを行うことができました。

当支部では引き続き、宮城県をはじめ東北6県における交通事故の防止・削減に向け、各種啓発活動を進めてまいります。



県警本部長の挨拶



交通安全アドバイザーによる呼びかけ



損保各社からも参加
(写真一番右の列)

以上